

2022.05.01 聖書預言アップデート これから起こることを恐れない

JD ファラグ牧師

おはようございます。ようこそ。皆さん来て下さって大変嬉しいです。どうぞお座りください。オンラインでご覧の方も一緒に参加下さり歓迎します。日曜日の朝は、2つの礼拝があり、第一礼拝は、毎週もちろん「聖書預言・アップデート」で、第二礼拝は、ハワイ時間 11 時 15 分からライブ配信する聖書を節ごとに学ぶ「聖書の学び」現在「ヤコブの手紙」です。今日学ぶのは、「なぜ、私たちクリスチャンが互いに憐れみ深くあることが、最重要なのか」それが 11 時 15 分からです。また、ユーチューブやフェイスブックでご覧の方は、jdfarag.org サイトへ直接行かれ検閲なし、中断なし、今日の完全版の「聖書預言・アップデート」をご覧ください。それでは、始めましょう。

今日お話ししたいのは、「イエス・キリストに従う信者としてなぜ私たちは、これから起こる事に恐れる必要がないのか」しかしながら、イエスを信じない人には、、、こんな風に言うのをお許しください。でも、そういう人は恐れるべきです。実は、それは良い事で、“主を畏れる事”と呼ばれます。これから起こる事を恐れるのが、必要な主への畏れに繋がります。主を畏れる事は、「箴言」にある通り、「知識（知恵）のはじめ（箴言 1：7）」です。

「主を恐れるとは悪を憎むこと」(箴言 8：13)

実に、主を畏れる事は、人々を主に導きます。理由は、荒っぽく言わせてもらえるなら、皆さんや私が今の状況から脱出する唯一の道だからです。それが真理です。一拍手ー それだけが真理で、神に誓って言います。真理以外の何ものでもありません。イエスは仰いました。

「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」(ヨハネ 14：6)

私の願いであり祈りなのは、今日の「聖書預言・アップデート」が恐れに関して、信者への励ましとなり、未信者には、この「聖書預言・アップデート」が恐れの中で、主に辿り導く事です。あなたが主を畏れる事で、救いに辿り着けますように。救われた人も救われていない人も、最終的に、私たち誰しもをイエスに近づける効果があるなら、本当に、恐れとは良い事で、主を知り、主と共に歩み、主を愛し、主に仕える私たちは、時に健全な恐れが、私たちを主のもとに連れ戻し、主に近づけます。私が望むこの恐れは、、、実際望みませんよ。それって本音じゃないですね。ここに立って、私が話したいことを話すとすれば、この話はしませんね。というより、話す必要があるのです。でも、皆さん考えてみれば、この恐れは、これから起こることというより、実は既に起こっているようです。どういう意味ですか？ ええ、店舗の棚が空っぽに、なっていつています。物やサービスの価格が高くなっていつています。パニックの度合いも大きくなっていつています。主が私にこの方向で話すよう示唆されていると感じる理由は、よく聞かれる質問、「教会携挙」に関してです。つまり、私たちクリスチャンが、携挙前に 7 年間の患難時代前に起こると言われたことが起こり始めていることに、どれほど耐えなければならないかです。感謝な事に、神の御言葉は、実際、神の御言葉の権威の下に、断じて迷うことなく私が言えるのは、神は私たちを決して見捨てられず、私たちのために、何であっても提供下さる事。何が悲しいかという、こんにち世で起こり始めている諸々の悍ましい事が、多くの人に、恐れと不安の霊をもたらししている事です。だからこそ、患難時代前携挙の健全な教義について、私たちが信じる理由、私たちが信じる事を知るのが絶対的に必須です。今の時代で、今の世で、患難時代前の教会携挙という健全な教義に関して、曖昧になっている場合ではありません。これについての私の心を聞いてください。患難時代前携挙の健全な教義を攻撃する人たちによって、疑心暗鬼になったりさらに悪いことに揺さぶられたりするなら、必ず起こるのが恐れとパニックで

す。それは主からではありません。「第二テモテ 1 章 7 節」全ての方ではないでしょうが、ほとんどの人に馴染みのある一節です。

II テモテ 1 7 神は私たちに、臆病の霊ではなく、力と愛と慎みの霊を与えてくださいました。

より良い翻訳では、“律せられた思考”です。私たちが子どもを躱けるように、自分の思考を躱けるのです。思考が戦いの場だからです。サタンは私たちの思考にアクセスして来ます。彼は私たちの思考は読めません。それを神に感謝します。主は、私たちの思考を読まれます。なので、考えてみてください。しかしサタンは、私たちの思考に、考えを置くことが出来るのです。サタンが、疑いの種を撒きます。それがしなやかな土壌に入れば、発芽し、芽を出し始めます。そして苦い実を結ぶのも、そう長くはかかりません。サタンはそれを分かっています。私たちは自分の思考を躱ける必要があります。全ての思考を捕らえて、キリストに従うのです。

「待て。止まれ。はははは。そんな慌てずに。今のは何？ お〜ちょっと待って。(聖書を調べる) ダメ。それは頂けない。ダメ。そうならない。残念だけど、それは神の御言葉に、神の愛に、神のご性質に合致しない。」

ですから、今言ったように思考を躱け、受け入れない。私たちは思考を律せねばなりません。そして敵が、疑いの種を植え始めるのを許さない。なぜなら、その疑いが恐れに転じるまで時間の問題だからです。これが私が知り、言える事。「第二テモテ 1 章 7 節」です。

「神が(聖霊)私に下さったのは、臆する霊ではありません。聖霊は、私たちの心と思考に、恐れを決して生み出されません。なぜなら聖霊は、恐れは霊ではないからです。聖霊は常に、その御力を与えてくださいます。聖霊の御力です。では聖霊の実とは何でしょうか。“愛”です。愛。それが聖霊から生じる実です。なぜ私はこうやって始めるのか。はい、これが、、他にどう言えば良いか分かりませんが、大変重要なのは、「私たちは既に患難時代にいる。」と言ってる人々が多くいることです。どうですか？ もしくは、「携挙は 7 年間の患難時代の前ではないから、準備し始める方が良い。」とか。実は私は、準備しています。患難時代前携挙に備えています。(会衆：ハレルヤ)

2020 年 8 月 9 日、「聖書預言・アップデート」の全てを患難時代前携挙の健全な教えの聖書的証拠に捧げました。リンクを貼っておきます。(「聖書預言 / 患難前携挙の証拠」) その「聖書預言・アップデート」に、ダウンロード可能な類型論と文書版の 21 ページの PDF ファイルがあります。

皆さんに質問です。尋ねて答える必要のある質問です。その質問とは、なぜイエスは、私たちに仰ったのでしょうか。もしそうでないのなら、「イエスが私たちをこの世から連れ出す」と。どういう意味ですか？

「イエスが患難時代前携挙について語られたと言うのですか？」絶対そうです。「ヨハネの福音書 14 章」1 節から読んでよろしいですか？(会衆：はい！) イエスが話しておられます。弟子たちに仰います。

ヨハネ 14 1 あなたがたは心を騒がせてはなりません。...

なぜイエスは、「心を騒がせてはなりません。」と仰ったと思いますか？ 彼らの心が騒いでいたからです。意味深なのは分かっています。イエスは、弟子たちを安心させ、励まそうとされています。彼らの心が騒ぎ出し、恐れが芽生え始めているのを分かっておられたからです。

...神を信じ、またわたしを信じなさい。

そしてその理由、わあ〜

ヨハネ 14 2 わたしの父の家には住む所がたくさんあります。...

いくつかの翻訳では豪邸と訳されています。私は豪邸が好きです。かなり良い聞こえです。それからこう仰います。

...”そうでなかったら、”あなたがたのために場所を用意しに行く、と言ったでしょうか。

3 わたしが行って、あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。

(会衆：ハレルヤ) OK。ここで仰っている意味が分かりますか？ イエスは、花婿として、花嫁に仰っておられるのです。

「恐れなくて。心を騒がせてはなりません。わたしは婚姻部屋を用意するため行くのです。あなたがたの場所を用意するためです。」

古代のユダヤ人の結婚式の伝統的慣習の通り、婚約すると、花婿は父の家に行き、婚姻部屋を加えて建てます。建て終わったら、、補足的に言っておきたいのが、イエスは、約 2000 年前から用意しておられます。ほ~~~~ わお~ OK。それはここで置いておきます。ですから花婿が行き、父の家に部屋を増築、この婚姻部屋を建てるのは、誰も知らないその日その時にやって来るのを用意・予期してのことです。やって来られる用意と思惑(期待)です。イエスが夜の盗人のように来られ、いつも目を覚まして準備している花嫁を掠め奪い、連れさせられます。(マタイ 24:43 参照)

そしてイエスが用意された場所へ花嫁を連れて行かれるのです。そして、7 の期間=完成数の 7 の期間一緒に結婚を完成させ、お祝いします。それがこの箇所でイエスが仰られている事です。では別の質問です。私たちの花婿イエスが、ご自分の花嫁を 7 年間の患難時代前に連れ出されるのが当然ではないですか？なぜ、そうされない？ 「そうでなかったら、あなたがたのために場所を用意しに行く、と言ったでしょうか。」「わたしは、あなたがたをこの世から連れ出し、あなたがたのために用意した場所に連れて行きます。」

これに関してお付き合いください。というのは、もう少し踏み込みたいからです。皆さん、一緒に考えてほしいのです。神が、”患難時代、選民イスラエルのために、”日を短くすると約束されるなら、なぜ、患難時代前の私たち花嫁のためにそう約束されないのでしょうか。「マタイの福音書 24 章」21 節からです。**マタイ 24 21 そのときには、世の始まりから今に至るまでなかったような、また今後も決してないような大きな苦難があるからです。**

22 もしその日数が少なくされないなら、一人も救われないうでしょう。しかし、選ばれた者たち(イスラエル)のために、その日数は少なくされます。

前述の患難時代前携挙までに、どれだけ耐えられるかという質問については、聖書にはこれに関して約束に続く約束が記されています。具体的に「どんなに困難な状況でも恐れないう」なぜなら、神がどれほど良い方であるかを変えることは決してできないからです。神が私たちを、この世から連れ出されるその時まで、神があなたの面倒をみて下さるとは思いませんか？ この点で、神の御言葉で見るべきは、「詩篇 91 篇」です。「詩篇 91 篇」は、多くのクリスチャンに、多くの辛い試練や困難な苦難を与えてきました。

「詩篇 91 篇 5 節」から読みたいと思います。皆さん自分の時間に、神の御言葉、この詩篇に時間を費やすことをお勧めします。

詩篇 91 5 あなたは恐れないう。 夜襲の恐怖も 昼に飛び来る矢も。

6 暗闇に忍び寄る(興味深い事に) 疫病も真昼に荒らす滅びをも。

7 千人が あなたの傍らに 万人が あなたの右に倒れても それはあなたには 近づかない。

8 あなたはただ それを目にし 悪者への報いを見るだけである。

待ちきれません。お~そんな風に私を見ないでください。ここに書いてあるのですから。「あなたはただそれを目にし見る」なぜなら神に、最終決定権があるのですから。(会衆：ハレルヤ)

詩篇 91 9それは わが避け所 主を いと高さ方を あなたが自分の住まいとしたからである。
10 わざわいは あなたに降りかからず 疫病も あなたの天幕に近づかない。
11 主が あなたのために御使いたちに命じて あなたのすべての道で あなたを守られるからだ。
12 彼らはその両手にあなたをのせ あなたの足が石に打ち当たらないようにする。
13 あなたは 獅子とコブラを踏みつけ...

待って。何ですって？ 待ってください。はい、コブラです。

..若獅子と蛇を踏みにじる。訳すと、あなたが一体何を恐れるというのですか？ OK。コブラについて話す必要がありますね。少なくとも、2週間前話したこのコブラ理論の続きを提供しなかったら大失態になると思います。その「預言・アップデート」で伝えましたが、この件に関して、私はまだ信憑性を吟味している最中ですので、ご自身で調査されることが必須です。ことわざ的に「真実の赤ん坊を欺瞞の風呂の水と一緒に捨てる」ことは、私たちにとって大間違いだと思います。本当にサタンの思うつぼです。それが彼の手口です。この件が真実である可能性については、公平を期して、どう出るかはともかくまだ審査は終わっていないと言えるかもしれません。誰が、どのようにそれを提案しても それを検証するため伴うのは、私たちを神の御言葉へと駆り立てる事。それが、荒野でサタンに誘惑された時、イエスがなされたことではないですか？ 因みに「詩篇 91 篇」、あなたの足が石に打ち当たるように、サタンは曲解し、ちょっとだけ混ぜ込んで、それをイエスに試みます。なぜならサタンは、園でエバにしたように効果があると思ったから。サタンは、嘘の周りに十分な真実を包み込みそれを信じられるようにするので。なので、私たちは嘘を信じてしまいます。間違わないでください。サタンは、私や皆さんよりもずっと、聖書を知っています。サタンは真実を取って言います。「OK。さ~~~~あ。」(効果音ですよ) ちょ~っと、こねくり回します。ほんのちょ~っと。救い主の反応はどうだったのでしょうか。お~御霊の剣である神の御言葉です。「(聖書に) 書いてある。」(マタイ4章)「その手には乗らない。」そうは仰ってませんが、「その手には乗らない。」「そうは書かれていない。そんなこと御言葉にない。こう書いてある。」だからこそ、神の御言葉を知ることが大変重要なのです。木曜礼拝で、このことを話しましたね。それって「エレミア書5章」厳しい章でした。因みに今週の木曜日は、不本意にも言いますと、さらに良くはなりません。なので、是非来てください。つまりエレミヤは、預言者たちが偽りの預言をし、祭司たちが墮落し、民衆がそれを好むということが、なぜなのか、ただ理解できないのです。エレミアが言います。「神よ。彼らは嘘をついています。彼らが嘘をついていて、人々がその嘘を信じているのです。まるで、嘘をつかれることを望んでいるかのようです。」エレミヤは、「彼らは嘘を言っています。」今週、良くならないとはこのことですよ。この話をするつもりはなかったのですが、これはここにいる誰かのためかもしれません。「エレミア書6章」で、主が仰います。「これが問題なのだよ、エレミアよ。皆互いに偽りで眠って、こう言い合っている。『平安だ平安だ』と。平安がないのに。彼らは嘘を言っている。彼らは偽預言者で、偽りの預言をしていて、祭司も同様だ。彼らは自分たちの力で、墮落してしまった。」私は、3P'sと呼びますが、Prophets/預言者、Priests/祭司、People/民 人々はそれを好みました。

「我々にはそれを言うな。我々には、耳に心地よい事だけ言ってくれ。」(イザヤ30:10 参照)

「しかしそれは真実ではないのです。」「分かっているさ。でも、そんな真実は聞きたくない。」サタンはそれを分かっていますよ。そうでしょ？ (サタンはこうします。)
「それなら、OK。真理を使おう。ちょっと手を加えて、そして 新しい包装紙を貼って、さあどうぞ。」お~OK。皆さんご存知でしたか？ これは私にとって難しい問題です。なぜなら、非常に悪用され、誤用され、誤引用されているからですが、最近、エペソ人への手紙6章の「神の武具」に再び関心が集まっているようです。パウロがコリント人へ

書いたように、私たちの武具は世俗的ではありません。霊的な武具です。霊的な武具です。だから「霊的な武具で、この世の戦いをする」というのはどうなのでしょう？ どうにもなりません。しかしその武具の中に、1つだけ攻撃的な武具があるのを知っていますか？ 霊的武具です。他のすべてが防衛的ですが、その霊的武具とは、神の御言葉です。この霊的な戦いで敵を倒す望みがあるなら、神の御言葉、御霊の剣でなければならないのです。あの決定的な一撃です。ですから「詩篇 91 篇」が非常に適切である理由です。特にこんにち、世界で起こっている全てのことに對して、私たちは恐れに支配される傾向があることを語っています。特に「詩編 91 篇」が力強い理由の1つは、その織物生地に織り込まれている守りという約束です。この1つの詩に、大量の事が書かれていて、その中に、数多くの奇跡的な証も含まれます。その1つが、ペギー・ジョイス・ルースの著書 軍用版『詩篇 91・神の守りの盾』に書かれているものです。その中で、彼女はコーリー・テン・ブームが語る話について書いています。私のノートの切り抜きからです。引用します。

「第二次世界大戦中、多くの人々が主を知り、信頼するようになった。1人は、ドイツの収容所に長期間収容されていたイギリス人。ある日、彼は「詩篇 91 篇」を読んだ。彼は、天の御父に祈った。”私の周りで、次々と人が死んでいきます。私もここで死なねばならないのでしょうか。私はまだ若く、ぜひこの地上で、あなたの王国で働きたいのです。”彼はこんな答えを受け取った。”あなたが今読んだことに依り頼み、家に帰りなさい。”主を信頼し、彼は起き上がった。そして廊下に出て行き、門に向かった。守衛が叫んだ。「囚人！どこへ行くのだ？」「私はいと高き方の保護下にいます。」と彼は答えた。守衛は注意を促し、彼を通した。アドルフ・ヒトラーが、最も高い地位にある人物として知られていたからである。門の前まで来たが、そこには衛兵が立っていた。止まるよう命令され、「どこに行くのか？」と聞かれた。「私はいと高き方の保護下にいます。」彼が門を出るとき衛兵はみな注意を払って立っていた。そのイギリス人将校はドイツの田舎を抜け出し、やがてイギリスにたどり着き、そこで彼は脱走の経緯を語った。あの刑務所から生きて出てきたのは、彼だけだった。」これが数え切れないほどの証の1つです。恐れてはいけません。恐れに支配されてはいけません。起ころうとしているものを恐れてはいけないからと言って、起ころうとしているものに備える慎重さがないということではありません。「箴言 22 章 3 節」「箴言 27 章 12 節」もです。

箴言 22 3 賢い者はわざわいを見て身を隠し、...

お～私はどこに身を隠すのか？ いと高き主の御翼の陰に。危険が来るのが見えると、これらのことが起こっていると、私は恐れない。私は主を避け所とします。しかし、(箴言は続きます。)

...浅はかな者は入って行って痛い目にあう。 急いで言わせてもらいますけど、主が一人ひとりを導かれるように私たちがする準備は、常に信仰によるべきで、恐れによることではありません。このことが、これから起こることに関して、私が警告せねばならない話に繋がります。ですから私たちは信仰によって備え、そうすることで、恐れに屈しない。その為、先に進むので、ユーチューブとフェイスブックでのライブ配信をここで終了します。

一本編一

まずは、1つの預言から、支配解体に特化した預言から始めます。

それが究極的に、7年間の患難時代に成就するハイパーインフレーションに相對しての世界金融システムだからです。この預言は「黙示録 6 章」にあります。ところで、「黙示録 6 章から 19 章」は、全て7年間の患難時代についてです。なぜそれを言うのか？ なぜなら、「教会」という単語が、、、「聖徒」ではなく

「教会」という単語が、7年間の患難時代を記す「黙示録6章～19章」には、一度も出てきません。なぜ「教会」という単語が、「黙示録6章～19章」に出てこないのか。教会が患難時代にいないからです。一(笑)一(会衆：ハレルヤ)落ち着こうと思います。主よ、すみません。因みに、1章から3章には、「教会」という単語は19回出てきます。しかし6章から19章に、7年間の患難時代に成就される預言が出てくると、「教会」は一度も出てきません。巻き戻して、手短かに言います。患難時代の目的は、ユダヤ人国家の救いです。議論になるたび、ちなみにしばらくしていませんが、恐らくそれは良い事で、神の事で、患難時代前携拳教義の説教者の責任を、私に押し付けてくる人と会話をするときはいつもこう尋ねます。「主がご自分の花嫁に、7年の患難時代を経験させると想像するのは、どうしてなのか、なぜですか?」「それは何の目的ですか?」それが、私がいつも尋ねることです。誰も答えることはできません。まあ、一度だけ答えが来ましたね。大変面白いですよ。「そう、花嫁が清められないといけないから。」お～それは私には、行いに聞こえますが。「自分たちの力を証明せねばならないから。」お～本当に? なぜ神は、ご自分の花嫁を結婚式の前にポッコポコにするのですか? OK。やりすぎですかね? でもそれが真実ですよ。私たち夫婦は、今年結婚33周年です。2年間かかりました。若い人たちにとっては外国語のような言葉だと思いますが。求愛して、結婚するまで2年間かけたのです。待ちきれませんでした。文字通り、これは昔の話ですが、壁にカレンダーを掛けていて、結婚式までの日々を消して行ってました。待ちきれませんでした。花嫁ですよ。何の目的で、私たち花嫁に、7年間の患難時代、その一部でも経験させるのですか? 私たちは既に救われています。そのポイントは何ですか? あなたはこうは言えません。「お～私たちは、身を隠して、備えねばなりません。」何ですって? そんなこと、聖書のどこにあります? 「身を隠して」なんて書いていません。「顔をあげなさい」と書いています。OK。ですからこの預言は、すべてこう言うためにあります。これが「黙示録6章」で、患難時代です。今、皆さんの注意を本当に引きたいのは、患難時代の前に、患難時代に成就する預言が既に始まっていることを、私たちは見ているのです。それがここでの事例です。「黙示録6章5節」

黙示録 6 5 子羊が第三の封印を解いたとき、私は、第三の生き物が「来なさい」と言うのを聞いた。私は見た。すると見よ、黒い馬がいた。これに乗っている者は秤を手を持っていた。

これが商業、貿易、売買です。

6 私は、一つの声のようなものが、四つの生き物の真ん中でこう言うのを聞いた。「小麦一コイニクスが一デナリ。大麦三コイニクスが一デナリ。オリーブ油とぶどう酒に害を与えてはいけない。」

7 子羊が第四の封印を解いたとき、私は、第四の生き物の声が「来なさい」と言うのを聞いた。

8 私は見た。すると見よ、青ざめた馬がいた。これに乗っている者の名は「死」で、よみがそれに従っていた。彼らに、地上の四分の一を支配して、剣と飢饉と死病と地の獣によって殺す権威が与えられた。

人口の25%です。議論の目的で、現人口を80億としましょう。私の計算が正しければ、20億人です。この預言が成就する時、20億人が殺されます。どうやって殺されるのか? そう、大変詳細に記されています。剣(戦争)と、飢饉(食糧難)と、疫病と、地の獣によって。この飢饉に関して焦点を当ててみましょう。ご興味のある方は、2020年12月6日の預言・アップデート2020.12.06.「聖書預言 / 偉大なる設定」でこのことを深く掘り下げました。再度、ウェブサイト内のそのリンクを貼っておきます。その中で、このことに関して、多大な見識と洞察力あるの方の許可を得て、私たちは12段階の概要を見ました。これをしたのは2020年ですよ。2月に彼が再度メールを下さって、彼が言ったことを皆さん聞いて欲しいのです。一引用一

「金融的観点から注目していることについて、少しお知らせしたいと思います。私は、コロナの対応が健

康危機とは関係なく、金融危機の管理に利用されたことだと評価してきました。私は、ロックダウンの本
当の目的は、貨幣流通速度を遅くすることだと仮定しました。...

手短かに説明させてください。貨幣流通速度とは、経済全体にお金が循環する速度のことです。そして再び
急落しましたね。それだけ、貨幣が経済循環するスピードが速いということです。貨幣流通速度がないと
ダメなんですよ。...ですから 中央銀行や政府が、何十兆ドルもの通貨を印刷し、システムに注入し、早
期の崩壊を防ぐため、意図的にお金の速度を遅くしたのです。ロックダウンにより貨幣速度が低下し、イン
フレが急進し、(これ覚えておいてください) それは、経済が大きく動いていたなら発生することだっ
たのです。」彼は続けてこう仰います。

「もし、世界的にロックダウン政策の急速な撤回が見られるなら、それはインフレの罠が仕掛けられ、経
済を開放する時期が来たという合図かもしれません。その貨幣流通速度急騰(急増)が、非常に高いイン
フレに繋がります。」ふむ。。。「非常に高いインフレ率は、債券保有者が債券を売却するため債券市場の危
機を誘発します。実質収益率が急激にマイナスに転じるからです。(そうなっていますね) この売りが、
社債や住宅ローンなど債券利回りと金利急上昇をもたらします。債務市場崩壊は、債務返済のコストが
企業の収益を圧迫し、住宅ローン金利の上昇で住宅が買えなくなるため、株式市場や不動産市場を引き下
げることになります。お~こうやって”すべてのバブル”が弾けるのです。私が信じるのは、コロナ規制の
撤廃と世界経済の開放は、当初は専制政治に対する国民の勝利に見えるでしょうが、その勝利は、最後に
虚しいものになるでしょう。(彼は再度仰います) すべてのバブルが弾け、不換紙幣は、ハイパーインフ
レの崩壊で破壊されます。結論を言うと、世界的コロナ規制の急速逆転を見えています。これは、すべての
バブルと通貨システムを崩壊させるため、糸を引いている人々が、インフレを利用する時が来たと考えて
いることを意味します。」これが2月の事でした。今、ほぼ彼の仰った通りのことが起こっているよう
です。

5月に早送りします。ウクライナで起きている事は、世界の食糧供給に対する全面的な攻撃と思われま
す。これで十分悪くなかったら、皆さん聞かれたかもしれませんが、食品加工工場が破壊されていっている事
実を記録したゾッとする報道があります。以下は「Something Strange Happening to U.S.Food Processing
Plants=米国の食品加工工場に異変」と題する YouTube の動画からの引用です。実にはっきりしていま
す。引用します。

「この1年の間に、世界最大級の船舶が、世界有数の貿易ルートのスエズ運河を1週間近くも渋滞させ
た。農作物に使う肥料の価格は過去最高を記録している。ビル・ゲイツが、米国最大の農地所有者となっ
た。ウクライナ戦争による食糧不足を各国首脳が発表。ロシアは世界の小麦市場の30%以上を占め、ヨ
ーロッパの穀倉地帯と言われている。続いて、鳥インフルエンザの報道。...皆さんこれ聞きましたか？

...先月、ここ米国で、農家が何百万羽もの卵を産む家畜を殺さざるを得なくなった。これら前述の出来事
がすべて、スーパーの商品価格を押し上げている。しかし今、価格高騰と品薄の原因となった一連の奇妙
な出来事が、偶然なのか、それとももっと別のものなのか見てみよう。過去6ヶ月間で、米国の約20件
の食品加工施設が全焼。この1年が異常なほど多かったのかどうか、植物火災の件数を年ごとに比較す
る検索をいくつかかけてみた。2019年米国で、肥料火災とウォルマート物流センター火災を除いた食品
工場火災が2件あったようだ。この動画で、食品工場の火災事件が18件もある。(リンクも貼っておき
ます。)かなりの急増があるように思える。なので、食糧不足と価格高騰を引き起こす要因がすべて揃っ
ている。私たちが目撃しているのは、全くの偶然か？ それとも意図的なものなのか？ 彼らは本当に
我々の食糧供給を停止させようとしているのか？ それとも、我々の供給連鎖を破壊しようとしている

のか？」そう私にとって、修辭的だ。全く意図的だ。2020年8月、皆さん覚えていますか？ 私の出身地レバノンでのあの大爆発は謎に包まれたままだったのを思い出します。レバノンの穀物供給源穀物貯蔵庫でした。2年早送りして2022年。誰も話題にしません。たまたま見つけた1報道で、1報道だけです。レバノンの人々は餓死しています。食料がないのです。食料供給が壊滅的な状況になりました。意図的だ。すべて需要と供給の関係にあります。経済界を流通するお金の速度によって、供給が確実に増加します。彼らは私たちに、以前の2倍、3倍の金額を支払って店に戻って欲しいのです。品があればの話ですが。理由は、供給が枯渇し、因みに米国内では、90日間の供給量があります。今日、教会に来て良かったと思いませんか？「牧師さん、何を言ってるんですか？」もっと悪くなると言っているのです。彼らは食料供給を破壊し、経済の開放に相対して、需要増加で残った供給を枯渇させています。全て意図的だ。世界経済の支配解体だ。このハイパーインフレは、彼が言うところの「すべてのバブル」の崩壊として使われています。その時は刻一刻と近づいており、時間の問題だ。驚くなかれ、神の御言葉の中に、この7年間の患難時代に起こることを正確に描写する預言があるのです。それが既に起こり始めています。「ルカの福音書21章28節」イエスが仰いました。

「これらのことが起こり始めたら、...イエスは終わりの時の兆候を話しておられ、弟子たちにリストを挙げておられます。非常に衝撃的なコメントをしておられます。

「これらのことが起こり”始めたら”、...身を隠さないではなく、...身を起こし、頭を上げなさい。すみません。その言葉を使うのはこれで最後です。...身を起こし、頭を上げなさい。あなたがたの贖いが近づいているからです。」

つまり、私が思うに 今言ったようなことも言えたんですよ。ここまで私が言ってきたことは、言わば、どちらかという、これは.....つまり、恐れる事はなく、これ実は良い事なのです。変な話かもしれませんが、こんな感じです。「ぷ〜！！かかってこんかい。」なぜならその意味は、私は家に帰るのです。私は家に帰りたいです。もうここにいたくありません。救われないといけない人がいるのは分かっています。でも家に帰りたいです。ここが私の最終目的地ではありません。この世は私の家ではありません。通り過ぎていくだけです。

では結論です。患難時代に起こると言われている事が患難時代前に実現し始めているのを、私たちは既に目にし出しています。ですから、これは、私たちがいかに携挙に近いかを示す、もう1つの指標であり、注意喚起ではないですか？ そして、それは、私たちイエス・キリストに従う信者の励みとなるべきではないですか？ これは聖霊だと思のですが、言っていていいですか？ 手短かに言って、締めくくります。ここ数年、ずっと考えていたことがあります。私は心から信じますが、神は、大変お優しく、長くご忍耐され私たちに我慢されて来られました。しかし主は、私たちの、この世やこの世の事柄への執着を緩め、私たちのために、主が帰って来られる準備を整えて下さっているのです。なぜなら真実が知らしめられ、自分自身に正直になれば、私たちは皆、この世という一時的な土壌に深く根を下ろしてしまう傾向があります。ここで主がこんな風に、「さあ、わたしが来るのですよ。何が起きているか分かりますか？ どれほど近い分かりますか？ わたしはあなたに準備してほしいのです。あなたに準備してほしいのです。」先週話しましたね。「霊的に整える」時間はそんなありません。では、それが励みになり、しかし、また警告でもあるのです。イエスを知らない人たちへの警告であり、始めた通り、締めくくります。それは健全な恐れです。良い事です。なぜなら、主への畏れが私たちにもたらすのは、主の救い、イエス・キリストへの救いだからです。

再度、お許しいただきたいのですが、言い方はマズいと思いますけど、私はむしろお世辞を言って地獄に

行かせるよりも、怖がらせてでも天国へ導きたいのです。

「ええ牧師さん、あなた私を怖がらせていますよ。」ええ、たぶん良い事ですよ。たぶんそれは、良い事です。たぶんあなたは、天国に行く恐れを自分に持ち、地獄に行く恐れを自分から取るのです。たぶんその言い方がすっかりきました。これがこのアップデートを行う理由です。私は真実を語らねばならないのです。人気はないかもしれませんが。聞きたい事ではないかもしれませんが。でも聞く必要があるのです。それが起こることでもう既にここにいます。だから私たちは、福音/ゴスペル・良い知らせで締めくくります。それが、福音/ゴスペルの意味です。

「良い知らせです。あなたの負債が支払われました。あなたは自由です。」

「子(イエス)があなたがたを自由にするなら、あなたがたは本当に自由になるのです。」(ヨハネ 8:36)

「何の負債ですか？」さあ「救いのABC」の出番です。

A：自分が神に背いた罪びとであることを、Admit/認める または、Acknowledge/認識する。

これが鍵なのです。自分が罪びとだと認識するから、救い主が必要だと興味を持つのです。

ローマ人への手紙 3章 10節に書かれています。「**義人(正しい者)はいない。一人もいない。**」

ローマ人への手紙 3章 23節がその理由、「**すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、**

ローマ人への手紙 6章 23節、これが興味深いのは、先に悪い知らせとそれから良い知らせがセットになっています。悪い知らせとは？ はい、罪には罰則がある事です。私たち誰しもが罪びとで死刑宣告を受けています。「**罪の報酬は死です。(ローマ 6:23a)**」しかし、良い知らせがあります。

「神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」(ローマ 6:23b)それがAです。そしてB。実際の中心がBで、非常にシンプルです。B:Believe/信じるだけ。

B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると Believe/信じる。

ローマ人への手紙 10章 9-10節

「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

最後にCです。C：主の御名を Call/呼び求める Confess/告白する。

再度、ローマ人への手紙 10章 9-10節、「あなたの口でイエスは主と告白し、」これは心で信じる事の表現なのです。

「あなたの口でイエスは主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」(ローマ 10:10)

因みに**「すべての膝は、かがめられ、すべての舌が(神に)告白します。」(ローマ 14:11)**

(会衆：ハレルヤ)しかしその日が来て、すべての膝がかがめられ、すべての舌がイエス・キリストが主であると告白する時は、救いのためではなく、永遠の裁きのためです。

ローマ人への手紙 10章 13節 『主の御名を呼び求める者はみな救われる。』

私は切に願います。今日ここにいる人、あるいはオンラインで見ている人で、あなたが見ている理由は、このような時のために、主はあなたをこの動画に導かれたからです。今日が救いの日だからです。今日は、あなたが永遠のいのちという人生で最も重要な決断をする日です。今日この教会の礼拝にいらっしゃるあなたにも私は仮定はしません。あなたが主の御名を呼び求めたことがないなら、私は切に願います。今です。今。今です。もう時間がないのです。もう時間は残されていません。携挙はもういつでも起こり得ます。

「しかし、神は。ストーリー/証」を共有して終わりたいと思います。

バートさんとアメラ・チェンバレンさんからです。実は先週、彼らが再び来られた際、話をする機会に

恵まれました。

「こんにちは、JD と美しいご家族の皆さん。このメールを書いたのは、まず私たちがカルバリーチャペル・カネオへの皆さんを愛している事、そして、2021年4月に初めて皆さんにお会いして嬉しく思っているのを伝えるためです。妻のアメリアと娘のサラ、そして私はサクラメント（カリフォルニア）在住です。このメールの主な理由は「But God/しかし、神は。」です。IBMに勤務しています。（う〜〜）

宗教上の免除は、顧客との関係によって3か月から6か月と限られており、私の免除は3月31日が期限になっていました。私の仕事は（聞いてください）The Age AI、人工知能応用分野を担当しています。

私のアプリケーションの1つは、複数の州やいくつかの国で使われている注射の認証です。IBMは、検証作業を削除したのです。しかし認証されていない人は全員バッジが無効化され、仕事場やクライアントと会うための移動ができません。今日、私はこう言われました。私の上司はRE無効化を知りませんが上司は、顧客と向き合う必要性から、そうなると考えているようです。皮肉なことですが、私のお客様の殆どが接種を必要としないので、対応は可能です。ただ、無給休暇にする場合、30日前に通知しなければならぬので、IBMは失業手当を支払う必要はありません。しかし、感謝にも給付金を払ってくれました。私は何があっても接種拒否します。しかし、神は、私や他の人たちに「恐れてはいけません」

サインを与えてくださいました。（これ好きです。「恐れてはいけません」サイン）このIBMでの結果がどうであれ、主が提供くださることは分かっています。私たちは家族で主を知ることができ、祝福されています。私自身、ほんの数年前、主のもとに辿り着きました。この証を、預言・アップデートで使う場合、3月2日以降にお願いします。」そうしましたよ。先週、彼が下さった更新情報を伝えます。わお〜！！です。ただただ「しかし、神は。」です。カポノは上がってきてください。皆さんご起立ください。一拍手 神は悪を抑制し、義の者を支え続け、あのラッパが鳴るまでし続けられます。ここにいて、本当に苦勞している人、傷ついている人、そう、恐れを感じ、落ち込んでしまう。私はあなたを励ましたい。神が、あなたのあらゆる必要を満たしてください。それはあなたが考えるような方法ではないかもしれませんが、主は、目に見えない宝庫から、あなたが想像もしなかったような方法で、あなたの必要を満たすことを選択されるかもしれません。”しかし、神は”常にあなたが考えたり想像する以上に、素晴らしく豊かに与えてくださいます。主が面倒を見てくださいます。何も恐れることはありません。あなたはただ、主を信頼する。主があなたの避け所です。敵に恐れを植え始めさせないようにしましょう。敵にそれをさせてはいけません。歯を食いしばって。—(笑)— 祈りましょう。

天のお父様。主よ、感謝します。怖いです。そして、悪化しています。しかし、あなたは主です。あなたは常に忠実で、私たちはあなたのものです。あなたは私たちの面倒を見て下さいます。

主よ、あなたを知らず、あなたを呼び求めたことがなく、あなたに信頼を置いたことがなく、あなたを信じたことのない人たちが、主よ、私は祈ります。”今日”が彼らの救いの日になりますように。

主よ、ありがとうございます。主よ、最後にお願いします。マラナタ。

主、イエスよ。早く来てください。（黙示録 22:20）

イエスの御名によって。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7

類型論表

ヨセフ	イエス
父に愛された (創世記 37:3)	御父に愛された息子 (ひとり子) (マタイ 3:17)
しもべとして仕えた (創世記 37:2)	苦難のしもべと呼ばれた (ゼカリヤ 3:8, イザヤ 42:1)
兄弟たちの誰よりも愛され、高められた (創世記 37:3)	誰よりも愛され、高く上げられた (ヘブル 1:9)
兄弟たちがひれ伏し、統治する夢を見たため憎まれた (創世記 37:4, 8)	いつの日かすべてを支配し、統治するため憎まれた (ヨハネ 7:1-7, ルカ 19:14)
兄弟達から拒絶された (創世記 37:4)	神の民はイエスを拒絶した “彼らはこの方を受け入れなかつた” (ヨハネ 11:1)
麦の束に例えられた (創世記 37:7)	揺り動かす穂の束であった (レビ記 23:11, 12)
ヨセフへの憎しみはますます大きくなった (創世記 37:4, 5, 8)	福音書の中で、イエスへの憎しみは次第に悪化していった
地上の父に叱られた (創世記 37:10)	神殿でイエスの母と父に叱られた (ルカ 2:48)
イスラエルはヨセフにひざまずいた (創世記 37:10)	イスラエルのすべてが最終的にイエスにひれ伏す (ローマ 11:26)
父は “心にとどめていた” (創世記 37:11)	イエスの母は “イエスの言ったことを心に留めていた” (ルカ 2:19, 51)
兄弟達のもとへ使いに出された (創世記 37:13-14)	兄弟達のために地上へと遣わされた (ガラテヤ 4:4-5)
世的で邪悪な場所であるシェケムに使わされた (創世記 37:14)	邪悪な場所である地上へと遣わされた (ヨハネ 3:16)
兄弟達が迷っているかもしれないため、使いに出された (創世記 37:14-15)	失われた人々を探し、救うために遣わされた (ルカ 19:10)
遠くから見ていた兄弟達はヨセフを殺そうと企んだ (創世記 37:18)	人々はイエスをどうやって殺そうかと考えた (マタイ 21)
ヨセフの預言的な夢のために、兄弟達はヨセフを殺したかった (創世記 37:20)	神からのことばを語ったために、イエスは十字架にかけられた (ヨハネ 12:48-50)
ルベンは兄弟達をなだめようとした (創世記 37:21-22)	ピラトはユダヤ人をなだめようとする (ヨハネ 19:11-12)
ルベンは最後の最後でヨセフを救おうとした (創世記 37:21)	ピラトはキリストの死を止めようとした (ヨハネ 19:4)
空の穴の中に投げ込まれた (創世記 37:24)	空の墓に入れられた (マルコ 15:46)
ヨセフの長服がはぎ取られた (創世記 37:23)	着ていた服をはぎ取られた (マタイ 27:28)
兄弟達はヨセフを見殺しにした後、座った (創世記 37:25)	イエスが十字架にかけられたあと、座った (マタイ 27:36)
裏切られ、銀貨で売られた (創世記 27:28)	裏切られ、銀貨で売られた (マタイ 26:15)
兄弟達は「ヨセフは我々の兄弟で、我々の肉親だ」と言った (創世記 37:27)	“私たちはイエスの体、肉体、骨の一部である” (エペソ 5:30)
ヨセフの長服は血に浸された (創世記 37:31)	“血に染まった衣をまとっている” (黙示録 19:13, イザヤ 63:2)
ヨセフは生きていたが、兄弟達は死んだと嘘をついた (創世記 37:32)	イエスが生きていたため、人々は金を払って嘘をつかせた (マタイ 28:13-15)
ヨセフは主人にすべてを任せられた (創世記 39:8)	神からすべてのことがイエスに任されている (ルカ 10:22)
ヨセフの上着は脱がされた (創世記 39:13)	イエスの衣は脱がされた (ヨハネ 19:23)
不当に訴えられた (創世記 39:14)	不当に訴えられた (ルカ 23:14)
告発されても弁護しなかった (創世記 39:20)	告発されても弁護しなかった (マタイ 27:12-14)
神と人から好意をうけた (創世記 39:21)	神と人から好意を受けた (ルカ 2:52)
二人の罪人の隣に投獄された (創世記 40:3)	二人の罪人と一緒に十字架にかけられた (ルカ 23:39-43)
囚人の一人は罰せられ、一人は救われる (創世記 40:13)	盗人の一人は罰せられ、一人は救われる (ルカ 23:43)
三日後に呼び出されることを予告する (創世記 40:13)	三日目によみがえることを予告する (マタイ 16:21)
献酌官に、呼び出された後も自分を思い出すように伝える (創世記 40:14)	イエスがよみがえった後、杯をもってイエスを思い出すようにと弟子たちに告げる (ルカ 22:19)

献酌官に、自分は投獄されるようなことは何もしていないと伝える（創世記 40:15）	ピラトは人々に、イエスは十字架につけられるようなことは何もしていないと言う（ルカ 23:4）
2 つの要素を持つ 2 つの夢、杯とパン（創世記 40:16,17）	最後の晩餐の 2 つの要素・杯とパン（ルカ 22:17-19）
正しい服を着せられ、ファラオのもとに連れて行かれた（創世記 41:14）	キリストのもとへ来た時に、私たちはキリストの義を着せられる。（ガラテヤ 3:27）
解き明かせるのは唯一神だけだと示す（創世記41:16）	イエスはいつも栄光のために御父を示された（マタイ 5:16）
預言的に 7 年間の飢饉を明らかにする（創世記 41:27）	7 年の患難を預言的に明らかにされた（黙示録 5:5）
“神の霊が宿っている人”であった（創世記41:38）	神が限りなく御霊を与えられた（ヨハネ3:34）
牢獄から王座へと移った（創世記41:40）	墓から御座へと着かれた（黙示録5:1）
第二の車に乗せられ、人々に敬意を示された（創世記41:43）	三位一体の“第二の人（位格）”であり、私たちは敬意を表する（マタイ 3:17）
人々はヨセフの前にひざまずいた（創世記41:43）	すべての膝が、イエスの前にひざまずく（ピリピ2:10）
エジプトの全土を支配する権威を与えられた（創世記41:43）	すべての人を支配する権威が与えられた（ヨハネ17:2）
ヨセフの許可なしに、誰も何も出来なかった（創世記41:44）	イエスなしでは、私たちは何もすることは出来ない（ヨハネ15:5）
地位を上げられた時、新しい名が与えられた（創世記41:45）	昇天した時に、新しい名が与えられた（ピリピ 2:6-9, 黙示録3:12）
7 年間の飢饉の前に、エジプト（異邦人）の花嫁をめとった（創世記 41:45）	7 年間の患難前に、異邦人の花嫁をめとる（ヨハネ 3:29）
仕事を始めたとき、30 歳であった（創世記 41:46）	イエスが宣教を始めたのは、30 歳の時だった（ルカ 3:23）
“7”年間の飢饉の前に、二人の息子が生まれた（創世記 41:50）	7 年の患難前に、新しく生まれ変わった神の子ども達は、イエスの元へ行く
次男の名は“エフライム/実り多い”（創世記41:52）	第二の誕生は、イエスによる義の実（ピリピ1:11）
ファラオはヨセフの言うとおりにせよと人々に言った（創世記 41:55）	イエスの母は人々に、イエスが言われることは何でもするようにと伝えた（ヨハネ 2:5）
物理的に世界の唯一の命の源となるパンであった（創世記 41:57）	世の中にとって、唯一の霊的な命の源、命のパン（ヨハネ 6:33）
ヨセフのもとに来る者は誰でも生き、死なない（創世記 42:2）	イエスを呼び求める者は誰でも救われる（ローマ10:13）
兄弟達は飢饉の最中にヨセフのもとにやって来る（創世記 42:43）	イスラエルは患難時代の最中にイエスのもとへやって来る（ダニエル 9:27）
10 人の兄弟達は穀物を受けるためにヨセフの元へ連れて来られた（創世記 42:3）	十戒は義と認められるために私たちをイエスへと導く（ガラテヤ 3:24）
ベニヤミンはヨセフを拒否したり裏切ったことはなかった（創世記 42:4）	使徒パウロはベニヤミン族出身だった（ピリピ3:5）
兄弟達はヨセフの前にひざまずく（創世記42:6）	イエスの兄弟達（同族）であるイスラエルは救われ、イエスにひれ伏す（ローマ 11:26）
兄弟達はヨセフだと気付かない（創世記42:8）	神の民はイエスを認めず、受け入れなかった（ヨハネ1:11）
兄弟達はヨセフの死について嘘をつき続ける（創世記42:13）	ユダヤ人はイエスの死と復活について嘘をつき続けた（マタイ 28:12-15）
兄弟達は 3 日目に監獄から解放された（創世記42:17）	ユダヤ人は三日目（2000年の後）に回復される（ホセア6:2）
ルベンは“彼の血の報いを受けている”と言った（創世記 42:22）	人々は“イエスの血は私たちの上に”（マタイ27:25）

兄弟達から離れて泣いた（創世記42:24）	エルサレムのために泣かれた（ルカ19:41）
ユダはベニヤミンの保証人となる（創世記43:8）	イエスは新しい契約の保証人となられた（ヘブル7:22）
兄弟達はヨセフの元へ行くのが遅れる（創世記43:10）	イスラエルは真のメシアの到来を遅らせる（ローマ11:26）
乳香や没薬などの贈り物が差し出された（創世記43:11）	金と乳香と没薬がささげられた（マタイ2:11）
全能の神がヨセフの前で憐みを示してくださるようと言った（創世記43:14）	イエスの憐みのゆえに私たちは義とされる（テトス3:5）
兄弟達はヨセフの前に立った（創世記43:15）	人々はイエスの前に立ち向かう（ダニエル11:16）
自分の家で兄弟達と共にパンを裂くことを願った（創世記43:16）	イエスの御国で私たちと共にパンを裂くことを願っておられる（ルカ22:16）
宴会の準備のために動物を屠る（創世記43:16）	放蕩息子のたとえの教えの中で、宴会の為に動物が屠られた（ルカ15:20）
ヨセフの管理人は兄弟達に“安心しなさい。恐れることはない”と言う（創世記46:23）	イエスは復活後、“平安があなたがたにあるように”と言われた（ヨハネ20:26）
ヨセフについての預言は成就した（創世記43:28）	イエスは預言の霊（黙示録19:10）
兄弟達の罪にもかかわらず、恵み深く、親切である（創世記43:29）	私たちが罪びとであった時に、私たちへの愛のゆえにイエスは私たちのために死なれた（ローマ5:8）
2度泣く（創世記43:30）	二度泣かれる（ヨハネ11:35-ラザロ、ルカ19:41-エルサレム）
食事で“パンを出しなさい”と言う（創世記43:31）	最後の食事の時に“このパンをとりなさい”を言われる（ルカ22:19）
ヨセフのゆえに兄弟達は互いに驚き合った（創世記43:33）	人々はイエスのことを驚き、驚嘆した（マタイ8:27）
ヨセフの杯は銀であり、兄弟達の贖いへと繋がるものであった（創世記44:2）	イエスの杯は贖いのためであり、銀の杯はその描写（出エジプト記35:25-28）
神々の思いを知るために使われていた杯から飲んだ（創世記44:5）	父なる神の御心として苦難の杯を飲まれた（マタイ26:39, 42）
兄弟の内の11人はヨセフの食卓で裏切ったが無罪となる（創世記44:8）	イエスの食卓で、弟子の内の11人はイエスを裏切らなかった（マルコ14:17）
ユダは彼らの擁護者となる（創世記44:18）	ユダ族の子孫の獅子から、私たちをとりなす者が現れる（1ヨハネ2:1）
ユダは自分を身代わりのいけにえとして捧げた（創世記44:33）	ユダ族出身であり、ご自身を身代わりのいけにえとしてささげる（エペソ5:2）
これ以上制することが出来ず、過程を切り上げた（創世記45:1）	選ばれた者たちのために、その日数は少なくされる（マタイ24:22）
彼らの告白があった時、自分自身を隠すのを止める（創世記45:2）	告白するとき、イエスが顔を隠されることはしない（ホセア5:15）
最後に、兄弟達に正体を明かされる（創世記45:3）	最後に、イエスはイスラエルに自分自身を明かされる（1ペテロ1:20）
兄弟達はヨセフを見た時、動揺する（創世記45:3）	人々がイエスを見る時、嘆く（ゼカリヤ12:10）
“どうか私に近寄ってください”と言った（創世記45:4）	“わたしのもとに来なさい”と言われた（マタイ11:28）
救いのためにエジプトへ遣わされた（創世記45:5）	失われた人を救うために世の中に遣わされた（ルカ19:10）
イスラエルはヨセフの事を信じ“十分だ”と言った（創世記45:28）	信じるすべての人に、イエスは“完了した”と言われる（ヨハネ19:30）
イスラエルは“息子がまだ生きていたとは…”と言った（創世記45:28）	人々は“イエス様、御子は生きておられる”と言った（ルカ24:23）

聖書預言アップデート - 2020年8月9日(日)

患難時代前携挙

先週お伝えしたように、今日の聖書預言アップデートは少し趣向を変えて、患難前携挙についてお話します。

なぜ教会の携挙が7年の患難時代前に必ず起こらなければならないか、聖書的に証明します。

以下は、患難時代前携挙の多くの理由のうち、7つの理由を「RAPTURE」の頭文字をとって説明したものです。

R EVELATION TO US 私たちへの啓示
A FFECT UPON US 私たちへの影響
P URITY OF US 私たちの純潔さ
T RUMPETS FOR US 私たちのためのラッパ
U NIFORMITY WITH US 私たちとの一致・統一性
R ESPONSIBILITY ON US 私たちの責任
E NCOURAGEMENT FROM US 私たちからの励まし

REVELATION TO US 私たちへの啓示

黙示録 1:19 「それゆえ、あなたが見たこと、今あること、この後に起ころうとしていることを書き記せ。」

黙示録 4:1 「その後、私は見た。すると見よ、開かれた門が天にあった。そして、ラッパのような音で私に語りかけるのが聞こえた。あの最初の声があった。「ここに上れ。この後必ず起こることを、あなたに示そう。」

聖句	黙示録:章	出来事
あなたが見たこと…(過去)	1	イエス・キリストは十字架につけられ、葬られ、復活された。
今あること…(現在)	2 & 3	教会史(教会は 19 回言及されている)
この後に起こること…(未来)	4 & 5	携挙
この後に起こること…(未来)	6-19	患難時代(教会という単語の言及なし)
この後に起こること…(未来)	20	千年王国時代
この後に起こること…(未来)	21 & 22	新しい天と地(新天新地)

AFFECT UPON US 私たちへの影響

マタイ 24:45-51 (45)ですから、主人によってその家のしもべたちの上に任命され、食事時に彼らに食事を与える、忠実で賢いしもべとはいっただれでしょう。(46)主人が帰ってきたときに、そのようにしているのを見てもらえるしもべは幸いです。(47)まことに、あなたがたに言います。主人はその人に自分の全財産を任せようになります。(48)しかし彼が悪いしもべで、『主人の帰りは遅くなる』と心の中で思い、(49)仲間のしもべたちをたたき始め、酒飲みたちと食べたり飲んだりしているなら、(50)そのしもべの主人は、予期していない日、思いがけない時に帰って来て、(51)彼を厳しく罰し、偽善者たちと同じ報いを与えます。しもべはそこで泣いて歯ざりりするのです。

II テモテ 4:8 あとは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。その日には、正しいさばき主である主が、それを私に授けてくださいます。私だけでなく、主の現れを慕い求めている人には、だれにでも授けてくださるのです。

I ヨハネ 3:2-3 (2)愛する者たち、私たちは今すでに神の子どもです。やがてどのようになるのか、まだ明らかにされていません。しかし、私たちは、キリストが現れたときに、キリストに似た者となることは知っています。キリストをありのままに見るからです。(3)キリストにこの望みを置いている者はみな、キリストが清い方であるように、自分を清くします。

PURITY OF US 私たちの純潔さ

Ⅱ コリント 11:2-3 (2) 私は神の熱心をもって、あなたがたのことを熱心に思っています。私はあなたがたを清純な処女として、一人の夫キリストに献げるために婚約させたのですから。(3) 蛇が悪だくみによってエバを欺いたように、あなたがたの想いが汚されて、キリストに対する真心と純潔から離れてしまうのではないかと、私は心配しています。

ユダヤの結婚式	私たちの結婚式	聖書箇所
花婿の父は、花嫁を選び、花婿はその選びを承認する。	天の御父は、私たちが花嫁として選び、イエスはその選びを承認する	ヨハネ 10:28、15:16
結婚の契約(ケトゥバ)は、後に成就される花嫁への約束として、花嫁の為に書面(ケトゥバ)で記される。	新しい契約が、主の花嫁である私たちに、神のみことばの中で書き記される。古い契約の成就。	2 コリント 3:5-6
彼らはパンを裂き、同じパンを食べ、同じ杯から飲み、婚約(キドゥシン)の新しい契約に証印を押す。	イエスは最後の晩餐で、パンを裂き、杯から飲まれ、主の新しい契約が、主の血潮によって証印された。	マタイ26:27-29 ルカ 22:14-20
花婿は代価(モハー)を払って、新婦に愛を示す。	イエスが十字架上で代価を払ってくださった。花嫁の私たちへこれ以上の愛はない。	1 コリント 6:20 ヨハネ 15:23
花婿は、花嫁にすぐに迎えに来るという約束を伝える。	イエスは私たち花嫁に、迎えに来るという約束の言葉を残された。	ヨハネ 14:1-3
花婿、花嫁のために場所を用意し、父の家に婚姻部屋を増築する。	イエスは、御父の家にはたくさん部屋があり、私たちのために場所を用意しに行くと言った。	ヨハネ 14:1-3
父だけが、花嫁の為に花婿が戻って来る日と時を知っている。	イエスは、天の御父だけが、イエスが花嫁である私たちの為に戻ってくる日と時を知っていると仰った。	マルコ 13:32-33
花婿は花嫁へ「愛の贈り物」(マツタン)を送る。	私たちの花婿イエスは、花嫁に愛の賜物“永遠のいのち”“平安”を与える。	ヨハネ 10:22-28 ヨハネ 14:13-14、27
父は、新生活に備えるため花嫁に相続財産として贈り物(シルヒム)をする。	私たちには、父から私たちのために、御父にあって御父とともにある新しい人生のため、霊的賜物/聖霊の賜物が与えられている。	ヨハネ 14:16-17 2 コリント1:21-22 ガラテヤ 5:22
花嫁は清めのお風呂『MIKVACH』に入る。ヘブル語で洗礼の意味。	私たちは、清め、浄化下さる聖霊の洗礼を受ける。	使徒の働き 1:4
夜の盗人のように来る花婿のため、花嫁の未婚の友人が、花嫁に付き添い、花婿のために明かりを燈している。	私たちは光を輝かせ、灯を燈し、夜の盗人のように花婿が来る準備をしている。	マタイ 25:1-13
花婿が来る時、花婿の友人たちが先に行き、「彼が来るぞ！」と叫び、ラッパを鳴らす。	私たちの花婿イエスが来られる時、神のラッパが鳴る。	黙示録 4:1 I テサロニ 4:16-17 I コリント 15:51-52
花婿は、花嫁を地面から上に上げ運んで連れて行く。	私たちの花婿イエスは、私たち花嫁を携挙し、空中に連れ去られる。	ルカ 17:34-36 1 テサ 4:16-17
花婿は、花嫁を婚姻部屋に連れて行き、そこで結婚を完成させ(ニッスイーン)、7日間(シャヴア)祝う。	イエスが私たちが婚姻部屋に連れて行かれ、婚姻が完成し、7年間(シャヴア)祝う。	ヨエル 2:15-16 ダニエル 9:27

花婿が結婚を完成させたことを告るげまで婚宴の招待客は待機。その後7日間、招待客は喜びを分かち合う。	世が7年間の患難時代、私たちは花嫁として7年間祝う。	黙示録 19:7-8
結婚のお祝いの後には、大きな祝宴、(婚礼のごちそう)がある。	私たちが7年の祝いを経て、子羊の婚姻の祝宴がある。	黙示録 19:9
婚宴には、花嫁、花婿、招待客の3つのグループ(3組)が出席する。	子羊の婚宴も、花婿/イエス、花嫁/教会、招待客。招待客というのは、携挙後、患難時代の終わりに救われた患難時代の聖徒。	2 コリント 11:2 エペソ 5:23-27 黙示録 21:9-10, 7:13-14
花嫁の新居はエルサレム。花婿が花嫁のもとにやってきて、花嫁と一緒に住む。	メシア時代、千年王国において、メシアを信じる者たちが、メシアとともに支配するのが、新しいエルサレムから始まる。	黙示録 21:1-4 エゼキエル 43:1-2,7 イザヤ 2:2-4, ミカ 4:1-5

TRUMPETS FOR US 私たちのためのラッパ

- ・聖書の中のラッパは、1) 神の民を呼び寄せて神に合わせるため、あるいは神の民を結婚式に集めるため鳴らされる。
- ・もう一つ別の理由で鳴るラッパは、2) 戦いのために神の民を集めるため鳴らされる。
- ・旧約聖書にも新約聖書にも、2種の目的のため2種のラッパがある。また最初のラッパと最後のラッパがある。
- ・最初のラッパはイスラエルのため、最後のラッパは私たちのため。
- ・旧約聖書で、イスラエルのための最初のラッパが出エジプト記にある。

出エジプト 19:16・17 (16)三日目の朝、雷鳴と稲妻と厚い雲が山の上にあつて、角笛の音が非常に高く鳴り響いたので、宿営の中の民はみな震え上がった。(17)モーセは、神に合わせようと、民を宿営から連れ出した。彼らは山のふもとに立った。

- ・最後のラッパは私たちのため。パウロの「第一コリント人への手紙」、教会携挙について書かれているのを見てもわかる。

1 コリント 15:51・52 (51)聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな眠るわけではありませんが、みな変えられます。(52)終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにかえられます。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。

- ・その前に、黙示録 10 章 7 節にあるラッパについて取り上げる必要がある。

黙示録 10:7 第 7 の御使いが吹こうとしているラッパの音が響くその日に、神の奥義は、神がご自分のしもべである預言者たちに告げたとおりに実現する。」

- ・これが患難時代の最後のラッパになりえない理由は、このラッパを鳴らすのは、神ではなく、御使いでだからである。
- ・聖書には、御使いたちのラッパと、神のラッパと、2種の異なるラッパがある。
- ・御使いのラッパはイスラエルのため、神のラッパは私たちのため。このように、黙示録のラッパはイスラエルのためである。

マタイ 24:31 人の子は大きなラッパの響きとともに御使いたちを遣わします。すると御使いたちは、天の果てから果てまで四方から、人の子が選んだ者たちを集めます。

1 テサロニケ 4:16・17 (16)すなわち、号令と御使いのかしらの声と神のラッパの響きとともに、主ご自身が天から下って来られます。そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、(17)それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。こうして私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。

UNIFORMITY WITH US 私たちとの一致・統一性

ノアの時代	私たちの時代
ノアの時代の地球の人口は、約 70 億 ~90億人だったと推定する学者もいる。(創世記 6:1)	現代では、地球上の人口は約 80 億人に達し、まもなく90億人に到達すると言われている。
人々は自分のことしか考えず、食べる、飲む、遊ぶ、にしか関心がなかった。(創世記 6:5)	現代の人々は、この世の心配事や問題にとらわれ、自分のことだけを愛している。(2 テモテ 3:2)

当時の習慣として、悪魔的で非常に性的に忌まわしい行為があった。(創世記 6:2)	性的に忌むべきものだけでなく、現代には悪魔的な活動も存在する。
人間の邪悪さは膨大になり、その心の思いは絶えず悪に傾くばかりであった。(創世記 6:5)	人間の邪悪さは世界的な規模。この時代の悪はあまりにも広大であるため、私たちは絶えずそのことを耳にすることになる。(2 テモテ 3:1-5)
ノアは箱舟を準備しながら宣べ伝え、人々は警告を受けたが誰も聞こうとしなかった。(2ペテロの手紙 2:5)	場が用意されながらイエスが宣べ伝えられ、人々は警告されるが誰も耳を傾けていないよう。
人々は、「その日」「洪水」が地を滅ぼすこと、何が起こるのか何も知らなかった。(マタイ 24:39)	人々はこれから起こることについて何も知らない。「火」が地上を滅ぼす「その日」が来る。(2ペテロ 3:3-13)
洪水で滅ぶ前に、神と共に歩んだエノクは、神が彼を取られたので、その時もういなかった。(創世記 5:24)	患難時代の前に、新生した者たち、この最後の世代は、引き上げられ携挙される。(1テサロニケ 4:16-17)
ノアとその家族は箱舟に入り、「7」日後、洪水の水が地上を襲ってきた。(創世記 7:7-10)	私たちがエノクのように取り去られた後、「7」年の患難時代にイスラエルの民は患難に入る。(1 テサロニケ 4:16-17)
ノアとその家族は、洪水で生き残り、救われ、裁きの後新しい地にいる。(創世記 8:13-18)	ユダヤ人は患難時代の中で生き残り、救われ、裁きの後新しい天と新しい地に入る。(ローマ 11:26)

ロトの時代	私たちの時代
ロトは、ソドムに滅亡が襲う前、突然手を掴まれ連れ出された。(創世記 19:16)	私たちは、世に患難が前、突然この世から連れ去られる。(1 テサロニケ 5:3)

- ・ヨセフは、聖書の中で最も魅力的なキリストの型の一人。実は、ヨセフには100以上の型がある。
- ・ここでは、7年間の飢饉前の描写に対して、患難前携挙の型であることに焦点を当てる。
- ・7年間の飢饉が始まると、異邦人の花嫁はもう出てこない。

創世記 41:50 飢饉の年が来る前に、ヨセフに二人の子が生まれた。オンの祭司ポティ・フェラの娘アセナテが産んだ子である。

- ・ヨセフと同じように、モーセもエジプト(世の型)に災いが降りかかる前、異邦人の花嫁を娶った。
- ・イサクもキリストの型。キリストが異邦人の花嫁を娶るように、イサクもリベカをめとる。リベカは患難を経験しなかった。
- ・リベカは患難の前、キリストの型であるイサクのもとに行くため故郷を離れたからである。
- ・このことから、ダニエルが私たち教会の型、シャデラク、メシャク、アベデネゴがイスラエルの型であることがわかる。
- ・ダニエルはシャデラク、メシャク、アベデネゴが 7 倍の熱さの炉に入る前に、引き上げられ高い地位につく。
- ・ダニエル3章、彼ら3人が 6つの楽器が奏でる 60 キュビト×6 キュビトの像を拜むことを拒否しているのが興味深い。
- ・別の型は、近親者で買い戻しの権利があるポアズの異邦人花嫁ルツ。ポアズは明らかに私たちの贖い主イエスの描写。
- ・旧約聖書を一緒に学んだ人々には、ルツ記は最も魅力的な学びの一つでした。この学びについて興味がある人は、ウェブサイト calvarychapelkaneohe.com とYouTube チャンネルで「ルツ記」の学びをどうぞ。

ナオミとルツ	ユダヤ人と異邦人
ルツ 1:19 二人は旅をして、ベツレヘムに着いた。彼女たちがベツレヘムに着くと、町中が二人のことで騒ぎ出し、女たちは「まあ、ナオミではありませんか」と言った。	ナオミとルツの二人は、ベツレヘムにやってきたユダヤ人と異邦人両者の描写である。

<p>ルツ 1:22 こうして、ナオミは帰って来た。モアブの野から戻った嫁、モアブの女ルツと一緒にあった。ベツレヘムに着いたのは、大麦の刈り入れが始まったころであった。</p>	<p>こんにちでも、ユダヤ人はこの「収穫祭」を祝うとき、ユダヤ人のナオミと異邦人のルツを描いたルツ記を読む。</p>
<p>ルツ 2:2-3 (2)モアブの女ルツはナオミに言った。「畑に行かせてください。そして、親切にしてくれる人のうしろで落ち穂を拾い集めさせてください。」ナオミは「娘よ、行っておいで」と言った。(3)ルツは出かけて行って、刈り入れをする人たちの後 について畑で落ち穂を拾い集めた。それは、はからずもエリメレクの一族に属するボアズの畑であった。</p>	<p>ルツはボアズに出会う。ボアズは近親者の贖罪の律法を実現する人。エリメレクの畑を買い戻し、その息子の異邦人の花嫁と結婚し、申命記25:5-10の通り、兄の家名を受け継ぐことができる人。</p>
<p>ルツ 4:13 ボアズはルツを迎え、彼女は彼の妻となった。ボアズは彼女のところに入り、主はルツを身ごもらせ、彼女は男の子を産んだ。</p>	<p>近親者が(イエスは人となられ私たちの隣、近親者となられ)花嫁を愛するあまり、畑(世)を買い取る。この花嫁への愛から息子が生まれる。</p>
<p>ルツ 4:14 女たちはナオミに言った。「主がほめたたえられますように。主は、今日あなたに、買い戻しの権利のある者が途絶えないようにされました。その子の名がイスラエルで打ち立てられますように。」</p>	<p>ボアズ(イエス)は近親者の贖い主であり、ルツを非常に愛し、生涯その名を残す系統が途絶えないよう、彼女に息子を与えた。</p>
<p>ルツ 4:16-17 (16)ナオミはその子を取り、胸に抱いて、養い育てた。(17)近所の女たちは、「ナオミに男の子が生まれた」と言って、その子に名をつけた。彼女たちはその名をオベデと呼んだ。オベデはダビデの父であるエッサイの父となった。</p>	<p>この子はユダヤ人ナオミの膝に抱かれ、異邦人の花嫁ルツは聖書にもう出てこない。(患難前携挙)。 この子はダビデの祖父オベデであり、イエスがベツレヘムでお生まれになる系統。</p>

RESPONSIBILITY ON US 私たちの責任

メリアム・ウェブスターは、「責任とは、信頼性と信用性、責任を怠っていないという意味で、責任を負うもの。」と定義。

黙示録 3:7・13 (7)また、フィラデルフィアにある教会の御使いに書き送れ。『聖なる方、真実な方、ダビデの鍵を持っている方、彼が開くと、だれも閉じることがなく、彼が閉じると、だれも開くことがない。その方がこう言われる——。(8)わたしはあなたの行いを知っている。見よ。わたしは、だれも閉じることができない門を、あなたの前に開いておいた。あなたには少しばかりの力があって、わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。(9)見よ。サタンの会衆に属する者、すなわち、ユダヤ人だと自称しているが、実はそうではなく、嘘を言っている者たちに、わたしはこうする。見よ。彼らをあなたの足もとに来させてひれ伏させ、わたしがあなたを愛していることを知らせる。(10)あなたは忍耐についてのわたしのことばを守ったので、地上に住む者たちを試みるために全世界に来ようとしている試練の時には、わたしもあなたを守る。(11)わたしはすぐに来る。あなたは、自分の冠をだれにも奪われないように、持っているものをしっかり保ちなさい。(12)わたしは、勝利を得る者を、わたしの神の神殿の柱とする。彼はもはや決して外に出て行くことはない。わたしは彼の上に、わたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち、わたしの神のもとを出て天から下って来る新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名とを書き記す。(13)耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。』

ENCOURAGEMENT FROM US 私たちからの励まし

I テサロニケ 4:13・18 (13)眠っている人たちについては、兄弟たち、あなたがたに知らずにいてほしくありません。あなたがたが、望みのない他の人々のように悲しまないためです。(14)イエスが死んで復活された、と私たちが信じているなら、神はまた同じように、イエスにあつて眠った人たちを、イエスとともに連れて来られるはずです。(15)私たちは主のことばによって、あなたがたに伝えます。生きている私たちは、主の来臨まで残っているなら、眠った人たちより先になることは決してありません。(16)すなわち、号令と御使いのかしらの声と神のラツパの響きとともに、主ご自身が天から下って来られます。そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、(17)それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。こうして私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。(18)ですから、これらのことばをもって互いに励まし合いなさい。

最後に、今日この患難前携拳の教えをした理由は、携拳はいつ起こってもおかしくないからです！

ですから、毎週この聖書預言・アップデートを行い、イエス・キリストの福音と簡単な救いのABCで締めくくります。

福音/良い知らせとは、「イエスが十字架にかけられ、葬られ、3日目によみがえり、そしていつか私たちのために戻って来られます」

救いの ABC

Admit 認める/自分は罪びとであり、救い主が必要だと認める。(ローマ 3:10-6:23)

Believe 信じる/イエスが主であり、神はイエスを死からよみがえらせたと信じる。(ローマ 10:9-10)

Call 呼び求める/イエスの御名を呼び求め、イエスが主であると告白する。(ローマ 10:9-10, 10-13)